



伊豆の国市の行政窓口をご紹介するこのコーナー。今回ご紹介する総務部(豊竹満夫部長)は、総務課、検査室、安全対策課、税務課の3課1室で構成されており、あやめ会館2階と伊豆長岡庁舎1階にあります。

現在の状況を、課長にインタビューしてきました。

インタビューの内容

Q1. 合併後の業務は順調に行われているか?

Q2. 今後実施する大きな事業、または課題は?

Q3. 市民の皆さんに一言

第9回・総務部

(あやめ会館・伊豆長岡庁舎内)

総務課

電話 055 948 1411 (課長1人、課員11人)

主な仕事

選挙、文書受付、文書管理、人事、職員研修・給与・共済・厚生、例規、情報公開など



あやめ会館2階のロビー正面(写真手前)が総務課、正面左(写真奥)が検査室

- A1. 選挙管理委員会のある総務課は合併後すぐに、市長・市議会議員選挙、県知事選挙、衆議院選挙と続き、多忙を極めました。その後は順調に業務を遂行しています。
- A2. 現在417人いる市職員一人ひとりが新市のビジョンを推進していけるようにするため、当面は、職員の人事管理制度の構築や職員の人材育成のための研修等に重点的に取り組みたいと思います。
- A3. 選挙管理委員会と明るい選挙推進協議会より、若い有権者の皆さんへ。選挙はあなたが政治に参加することができる最も身近で大切なチャンスです。ぜひ投票に行きましょう。また、選挙のことで分からないことは気軽にお問い合わせください。

(回答: 課長 植松二夫)

検査室

電話 055 948 1403 (室長1人、室員2人)

市役所が発注した工事・業務委託・物品購入等が、契約・法令規則等に適正なものかを検査し、成果品として受け取る部署。

日ごろから市民の代行者(市民の視線)としての使命感を持って、担当課や業者に指導を行っています。(室長 西島 康)

安全対策課

電話 055 948 1412 (課長1人、課員5人)

主な仕事

消防、防災、防犯、交通安全、同時通報無線など

- A1. 緊急時に即応できる支所単位での職員配備体制や自主防災組織の強化、避難所となる学校施設との役割確認、また事前対策の効果や必要性の周知などの災害対策に努めてきました。2回の台風を経験しましたが、現在のところ順調です。
- A2. 防災行政無線の統合とデジタル化整備は、災害に強いまちづくりにあたって急務です。また、実情に即した形での消防団の分団統合や、情報を共有し合える交通安全・防犯体制の推進を図っていきたく考えています。
- A3. 市民一人ひとりが防災(防犯)意識を持ち、「自らの命は自ら守り、地域は皆で守る」ことを前提に、地域ごとに「人を知り、地域を知り、災害を知る」ことを心掛けましょう。

(回答: 課長 米山賢治)



自主防災会と消防団が協働で、年2回の防災訓練を実施

税務課

電話 055 948 2907 (課長1人、課員18人)

主な仕事

市民税・固定資産税・軽自動車税などの課税・徴収、土地家屋台帳の閲覧、地籍図の発行など



伊豆長岡庁舎正面玄関入ってすぐ右が税務課

- A1. 合併した直後は平成17年度分の課税通知の発送等、当初課税の準備に追われ、慌ただしい日々が続きました。7月ごろからは業務が落ち着き、今は順調です。
- A2. 合併後初めてとなる平成17年分の確定申告が2月16日(木)から始まります。今回の申告は、老年者控除が廃止されるなどの税法改正の影響で、申告対象者が増えることが見込まれます。このため、市では申告期間を拡大し、還付申告者を対象に、2月6日(月)から還付申告相談会場を設けました。ぜひご利用ください。
- A3. 確定申告が始まりますが、確定申告の手引きや国税庁のホームページを利用し申告書は自分で作成してみましょう。申告期限の間際になると、申告会場は大変混雑しますので、早めに申告してください。(回答: 課長 青木一雅)

次回・最終回は、企画部を紹介します。

第10回

いずのくにもの女ひと

このコーナーでは、伊豆の国市内に住む、働くまたは縁のある輝いてる皆さんを紹介していきます。

今回は、2月26日(日)にアクシスかつらぎにて上映会を行う、映画『花のこえ』の監督・太田綾花さんを紹介します。

(『花のこえ』無料上映会の記事は7ページ)

「八歳で高原分校に転校してきたときは、いつか『となりのトトロ』に出会えるような気さえしました」という太田さん。当時は、全校で約二十人。毎週の植物観察など豊かな自然の中で学ぶ分校に、約四年間通いました。

映画監督を志したのは、十五歳のとき。「ハリウッドのような大作ではなく、低予算でも自分が見たい世界を表現できる、映画の奥深さに感動」。そして武蔵野美術大学映像学科へ進学しました。

『花のこえ』は、在学中、「分校が廃校になるかもしれない」と聞き、撮り始めた記録映画。東京から三十回近く通い撮影しました。「九月ごろ、『今年いっぱい廃校が決定した』と聞き、シヨックでした。東京のアパートで一

人パソコンに向かい、『なぜこんなにいい学校が無くなってしまっただろう?』と泣きながら編集していました」。そして、たくさんの想いが詰まった映画『花のこえ』は完成。愛・地球博での上映や第二十五回『地方の時代』映像祭の市民部門奨励賞受賞など、各方面で高い評価を得て、昨年末に行った東京・下北沢の短編映画館でのロードショーも大好評でした。

『花のこえ』は私の初めての作品。お客さんの、『よかったよ』という声を聞いたときの感激は一生忘れられません。皆さんもこの映画を観て、こんなにすばらしい環境が身近にあるのを知ってほしいです。

さあ、あなたも『花のこえ』に、耳を傾けてみましょう。



おたあやか 太田綾花さん

みんなでチャレンジ! 広報クイズ

毎月、正解者の中から抽選で10人に図書券(500円分)をプレゼントします。皆さんのご応募お待ちしております。【応募方法】はがきにクイズの答えと住所、氏名(フリガナ)、年齢(学年)、職業、電話番号、身近な話題や感想、ご意見などを書き添え、2月13日(月)までに下記へお送りください。いただいたご意見などは、広報で紹介させていただく場合もあります。

【あて先】〒410 2292 長岡340 1

伊豆の国市 企画部 総合政策課

【先月の答え】答えは「犬」。正解者は31 / 31人でした。当選者は次の皆さんです。

【当選者: 敬称略】福島伸三、中島美奈子、鈴木佐代子、岩崎武雄、佐々木敏子、後藤久美子、風間一昭、土屋愛、廣澤遼、小塚圭子

スタート

	分	供	生
文	二文字の熟語が完成するようにリストから漢字を選んで入れてください。そして、入れた文字が次の文字と組み合わせさせて再び熟語になるようにしてください。リストで使われなかった漢字を使ってできる熟語は何でしょうか。		
用	実	補	兆

【漢字リスト】

充子立養前候
春命例節費